

目次 (令和6年度実施計画書)

※朱書きは新規事業

【施策の大綱4】安定したまちの基盤をつくります

ページ	大綱	分野	事業名	課名
111	4	11-1	<u>久場・泊地区市街化区域編入資料作成業務</u>	都市建設課
112	4	11-1	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	都市建設課
113	4	11-2	役場庁舎等維持管理事業	総務課
114	4	11-3	南上原土地区画整理事業	都市建設課
115	4	11-3	交通安全対策特別交付金	都市建設課
116	4	11-3	舗装構成改良事業	都市建設課
117	4	11-3	村道奥間～南上原線整備事業	都市建設課
118	4	11-3	中城村橋梁長寿命化修繕事業	都市建設課
119	4	11-3	<u>村道新川線災害防除事業</u>	都市建設課
120	4	11-3	交通安全対策（地区内連携）事業	都市建設課
121	4	11-4	護佐丸バス運行事業	企画課
122	4	11-4	<u>中城村地域公共交通計画策定事業</u>	企画課
123	4	11-5	<u>タウンセンター地区排水対策事業</u>	都市建設課
124	4	11-5	<u>雨水出水浸水想定区域図作成事業</u>	上下水道課
125	4	11-6	水道事業（第7次拡張）	上下水道課
126	4	11-6	下水道事業	上下水道課
127	4	11-6	効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）	上下水道課
128	4	12-1	観光地周辺環境美化事業	都市建設課
129	4	12-2	吉の浦公園機能強化整備事業	生涯学習課
130	4	12-2	スポーツ観光交流拠点形成推進事業	生涯学習課

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 久場・泊地区市街化区域編入資料作成業務													
令和5年度 事業費		千円	令和6年度 事業費	5,346	千円	対前年度 増減額	5,346	千円	総事業費 (令和6～8年度)	5,346	千円	事業区分	新規事業（緊急）

事業概要 吉の浦火力発電所周辺における工場適地指定に伴い、市街化編入と同時に工業系用途の指定を行い、村内の工業用地を拡大し、産業振興による地域活性化を目指す。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	都市建設係
	分野	11-1 均衡の取れた土地利用の推進										担当名	佐久田卓弥
	その他関係施策											内線番号	281
事業期間	令和	6	年	～	令和	7	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
久場・泊地区は、特定保留地区として指定される予定であり、市街化区域へ編入するために用途の指定（工業、準工業）と地区計画策定を行う必要があり、編入のための資料作成を行う。					市街化区域へ編入することで、村内の工業用地を拡大し、産業振興による地域活性化を目指す。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	5,346	資料作成						
合計	5,346		合計			合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		5,346	千円 100.0%	一般財源		千円		一般財源		千円	

令和6年度目標 (KPI等)	住民説明会を行いながら、市街化区域編入のための資料作成を行う。	令和6年度 との相違点	住民説明会等の意見を確認しながら、市街化区域編入の都市計画決定を目指す。	令和7年度 との相違点	
今後の展開	資料作成を行いながら、都市計画決定を目指す。	目標	市街化区域編入	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業												
令和5年度事業費	11,035	千円	令和6年度事業費	13,794	千円	対前年度増減額	2,759	千円	総事業費(令和6～8年度)	48,380	千円	事業区分	継続事業

事業概要 地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	事業概要	第五次総合計画での位置付け						担当課	
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	まちづくり計画係
	分野	11-1 均衡の取れた土地利用の推進						担当名	漢那
	その他関係施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します						内線番号	
事業期間	令和	4	年	～	令和	13	年	積算資料	

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
本村は、社会的・歴史的な特殊事情により計画的な土地利用ができなかったことにより、本村の国道沿いは住宅が張り付き、民間事業者の活力を活かした商業施設等が進出できない状況となっている。そのため、世界遺産・中城城跡への観光客や吉の浦公園でのスポーツキャンプ等への見学者等による村内消費が生まれず、交流人口の獲得もできない状況となっているほか、民間事業者の活力を活かしたにぎわいづくりの拠点がなく、村民同士の交流や地域活性化の取組みも実施できない状況である。	戦後の影響によって阻害されてきた土地利用を再編し、民間事業者の活力を活かした商業施設を誘致し、併せて交通結節点の機能を整備することで、住民の利便性向上だけでなく、同施設におけるイベント等の開催を通じた住民交流の促進や、また、交流人口の増加による観光消費の獲得等を通じて、魅力的で持続可能なまちづくりに寄与する。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	7,042	誘致戦略策定業務	委託料	4,378	アドバイザー業務	委託料	10,000	交通アセスメント業務
委託料	6,752	住民ニーズ調査	委託料	7,271	観光客ニーズ調査	委託料	10,000	インフラ設計業務
			委託料	2,937	サウンディング調査			
合計	13,794		合計	14,586		合計	20,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	11,035	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	11,668	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	16,000	千円 80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		2,759	千円 20.0%	一般財源		2,918	千円 20.0%	一般財源		4,000	千円 20.0%

令和6年度目標(KPI等)	誘致戦略案及びロードマップの作成	令和6年度との相違点	誘致戦略案及びロードマップにもとづいた各種整備	令和7年度との相違点	事業地周辺のインフラ改修に伴う設計完了 大型店舗出店に伴う周辺地域の交通アセスメントの実施
今後の展開	・商業施設の誘致に向けた各種整備 ・住民向けワークショップ等の開催	目標	・商業施設誘致事業者公募要件の整理	目標	・商業地の誘致に向けた各種整備 ・交通アセスメントの完了

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 役場庁舎等維持管理事業													
令和5年度 事業費	50,200	千円	令和6年度 事業費	45,290	千円	対前年度 増減額	▲ 4,910	千円	総事業費 (令和6～8年度)	135,870	千円	事業区分	継続事業

事業概要 行政運営の中心である役場庁舎の適切な管理・運用を行うため、常駐警備や監視警備、清掃業務、エレベーター保守、環境衛生管理などの施設維持管理や、庁舎敷地及び公共駐車場の除草作業を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										総務課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	情報管財係
	分野	11-2 公共施設の整備										担当名	平敷
	その他関係施策											内線番号	216
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
<p>中城村役場へ来庁される村民の清潔な庁舎環境・安全確保、又、職員の業務遂行に係る快適な職場環境の確保のため、適切な維持管理を続けていく必要がある。 また、庁舎敷地及び公共駐車場における緑地帯の適切な管理の為の除草作業や、来庁者及び職員のニーズに合った施設改修及び災害対策本部としての施設機能見直しも検討する。</p>					<p>適切な保守・維持管理を実施し、管理面及び環境面において良好な庁舎環境を維持することにより、安全・安心な住民サービスの提供を行える。</p>				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需要費	16,700	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,700	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,700	消耗品、修繕、光熱水費
役務費	7,310	通信運搬、保険	役務費	7,310	通信運搬、保険	役務費	7,310	通信運搬、保険
委託料	18,066	警備、清掃、保守	委託料	18,066	警備、清掃、保守	委託料	18,066	警備、清掃、保守
使用料	3,000	借地料、リース	使用料	3,000	借地料、リース	使用料	3,000	借地料、リース
公課費	214	自動車重量税	公課費	214	自動車重量税	公課費	214	自動車重量税
合計	45,290		合計	45,290		合計	45,290	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源	45,290	千円	100.0%	一般財源	45,290	千円	100.0%	一般財源	45,290	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	施設の適切な管理を行う。 ・役場庁舎（敷地面積：7,432.78㎡、延床面積：5,597.86㎡） ・公共駐車場（6,963.23㎡）	令和6年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。	令和7年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。
今後の展開	・来庁者及び職員のニーズに応じた施設改修や備品の整備。 ・災害対策本部として適切に業務を遂行していくための施設機能見直し。	目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。	目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	南上原土地区画整理事業												
令和5年度事業費	219,062	千円	令和6年度事業費	198,000	千円	対前年度増減額	▲ 21,062	千円	総事業費(令和6～8年度)	215,600	千円	事業区分	継続事業

事業概要 学園都市として琉球大学との調和のとれた街並を形成するとともに、中城村の新たな緑住スタイルを提案していく居住環境づくり、暮らしの情報発信の場としての地区形成を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	区画整理係
	分野	11-3 道路整備の推進										担当名	金城 穰
	その他関係施策	12-1, 12-3										内線番号	282
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
琉球大学の移転に伴い南上原地区周辺の地域環境が変わってきており、こうした変化に対応して、住宅地・商業地・公園・学校等のインフラ整備を行い、快適で住みよい住環境を構築し健全な市街地形成を図る必要がある。 今後は、事業完了にむけて換地処分に取組んでいく。	区画整理事業を進めることで、整備された宅地の住宅建築の促進を図り、子育て環境の向上や公共施設の充実によって大幅な地域の発展に繋がる。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬、職員手当、旅費	8,000	会計任用職員、審議会	報酬、職員手当、旅費	2,800	会計任用職員	報酬、職員手当、旅費	2,800	会計任用職員
需用費	1,500	消耗品、燃料等	需用費	1,500	消耗品、燃料等			
役務費	4,500	通信運搬費、保険	役務費	4,500	通信運搬費、保険			
委託料	168,000	換地処分、住所変更等	使用料及び賃借料	1,000	コピー機、サーバー等			
使用料及び賃借料	1,000	コピー機、サーバー等	原材料費	5,000	道路維持管理等			
原材料費	5,000	道路維持管理等						
工事費	10,000	記念碑						
合計	198,000		合計	14,800		合計	2,800	

財源内訳				財源内訳				財源内訳						
国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円			
地方債		地方債		地方債		地方債		地方債		地方債				
その他()	保留地処分金、基金	198,000	千円	100.0%	その他()	保留地処分金、基金	14,800	千円	100.0%	その他()	保留地処分金、基金	2,800	千円	100.0%
一般財源			千円		一般財源		千円		一般財源		千円			

令和6年度目標(KPI等)	換地処分関連委託業務の発注 個別説明会の実施 事業計画変更(最終)	令和6年度との相違点	換地処分公告 区画整理登記及び保留地の移転登記 清算金の徴収及び交付	令和7年度との相違点	清算金の徴収及び交付
今後の展開	清算金の徴収及び交付	目標	換地処分公告	目標	清算金業務の完了

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		交通安全対策特別交付金											
令和5年度事業費		千円	令和6年度事業費	2,000	千円	対前年度増減額	2,000	千円	総事業費(令和6～8年度)	6,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け						担当課					
交通安全対策特別交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を整備し交通安全上の危険箇所や利便性の向上、交通事故の発生を防止することを目的とする。				施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課			
				基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係		都市建設係	
				分野		11-3 道路整備の推進						担当名		狩俣 誠	
				その他関係施策								内線番号		281	
				事業期間		令和 6 年 ～ 令和 8 年						積算資料			

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
交通事故の発生を防止することを目的として、村内の危険箇所に交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置する。設置箇所は、自治会からの要望及び民生員の意見を取り入れ決定する。自治会からの要望が多く、危険と思われる場所を選定し設置順位を決定しているが、毎年の交付金額での新設設置ができない状況である。又、施設も老朽化している為、台風等や大型車両等での破損が多く維持管理上の予算確保が難しい状況である。						交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置することで、交通安全上の危険性が除去され、地域住民の生活利便性の向上及び安心、安全な街づくりに繋がる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	2,000		工事請負費	2,000		工事請負費	2,000	
合計	2,000		合計	2,000		合計	2,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		200	千円 10.0%	一般財源		200	千円 10.0%	一般財源		200	千円 10.0%

令和6年度目標(KPI等)	各種要望をベースに、現場確認の上、必要度の高い所を選定し、効果的に対策する。	令和6年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。	令和7年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。
今後の展開	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		舗装構成改良事業											
令和5年度 事業費	190,150	千円	令和6年度 事業費	207,580	千円	対前年度 増減額	17,430	千円	総事業費 (令和6～8年度)	441,341	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
日本道路公団が沖縄自動車道の建設に伴い施行した代替道路を昭和63年に村が移管を受けた村道をはじめ、村内には車道としての舗装厚が不足している村道があり、路面のひび割れや沈下が起こり通行に支障が出ている。舗装構成の変更を行い、通行車両の安全性を図ることを目的とする。対象路線は16路線。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課				
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係			
			分野		11-3 道路整備の推進				担当名	佐久田卓弥			
			その他関係施策						内線番号	281			
事業期間			令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題			事業実施効果					
日本道路公団から移管を受けた村道をはじめ、舗装厚が不足している村道があり、その路線は全面的に路面のひび割れや沈下が起こり、車両を傷つけた等の苦情も毎年でている。補修を行っても、すぐに損傷するため、維持管理での対応ではなく舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消する対策を行う必要がある。対象路線は16路線。			舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消することで通行車両の安全性を確保できる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	47,000	測量設計	工事費	233,761				
工事費	160,580	6路線						
合計	207,580		合計	233,761		合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	166,064	千円 80.0%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	187,008	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金		千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債	舗装構成改良事業債	37,300	千円 18.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		4,216	千円 2.0%	一般財源		46,753	千円 20.0%	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	令和6年度は、残り6路線の調査測量設計及び6路線分の舗装構成改良工事を実施する。	令和6年度との相違点	令和7年度は、6路線分の舗装構成改良工事を実施する。	令和7年度との相違点	
今後の展開	残り6路線の測量設計及び6路線の舗装構成改良工事を実施する。	目標	6路線分の舗装構成改良工事を実施する。	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		村道奥間～南上原線整備事業											
令和5年度 事業費	70,000	千円	令和6年度 事業費	9,978	千円	対前年度 増減額	▲ 60,022	千円	総事業費 (令和6～8年度)	939,978	千円	事業区分	継続事業

事業概要 村道奥間～南上原線の国道329号との交差点において道路拡幅を行い右折帯を整備することにより、朝夕慢性化している村道の渋滞を緩和する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	都市建設係
	分野	11-3 道路整備の推進										担当名	佐久田卓弥
	その他関係施策											内線番号	281
事業期間	令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料	有				

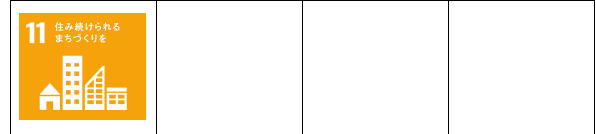
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
村道奥間～南上原線は、東西を結ぶ主要道路であるが、区画整理を行っている南上原地区の急激な人口増加により、本線を利用して、国道329号へと抜ける車両の交通量が多く、片側1車線の道路であるため、常に渋滞を引き起こしている。そのため、国道329号との交差点に右折帯を整備することで渋滞を緩和し、道路の利便性を高める。					南部国道事務所による奥間交差点の拡幅改良整備が行われており、本村道の改良の実施によりさらなる交通利便性の向上が期待される。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	1	道路改良	工事費	930,000	道路改良			
工事費	1	道路改良						
用地費	9,876	道路改良						
補償費	100	道路改良						
合計	9,978		合計	930,000		合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	7,760	千円 77.8%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	744,000	千円 80.0%	県補助金名			千円
地方債	奥間南上原線整備事業債	1,700	千円 17.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		518	千円 5.2%	一般財源		186,000	千円 20.0%	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	用地買収を推進する	令和6年度 との相違点	整備工事を推進する	令和7年度 との相違点	
今後の展開	用地買収を完了させ、工事発注につなげる	目標	整備工事の完了	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	中城村橋梁長寿命化修繕事業									
-----	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和5年度 事業費		千円	令和6年度 事業費	10,900	千円	対前年度 増減額	10,900	千円	総事業費 (令和6～8年度)	60,900	千円	事業区分	継続事業
--------------	--	----	--------------	--------	----	-------------	--------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
平成19年に国土省道路局長により橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」が通知され、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、5年毎の法定点検を令和3年、4年に実施し、その結果に基づき、橋梁の修繕や掛け替えを計画的に実施、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図る。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課		
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	都市建設係	
			分野	11-3 道路整備の推進						担当名	佐久田卓弥	
			その他関係施策							内線番号	281	
			事業期間	令和	3	年	～	令和	7	年	積算資料	有

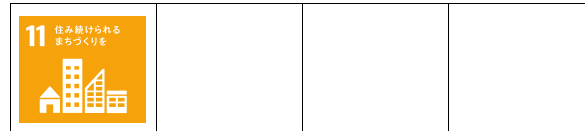
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
橋梁長寿命化計画を策定し、予防的な修繕及び計画的な架替えを図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。令和3年、4年の法定点検において、2橋（泊浜原線1号ボックス、津覇原線2号ボックス）の判定区分がⅢとなり、早期に対策を講じる必要が出ている。また、5年毎に橋梁の定期点検をすることが法定化されたため、全橋梁を再点検しなければならない。					早期に対策を講じる必要のある2橋の橋梁の架替工事を実施することで、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図る。また、橋梁長寿命化計画を更新し、予防的な修繕及び計画的な架替えを図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	7,000	実施設計(2橋)	工事費	50,000	架替工事(2橋)			
委託料	2,700	点検調査(1橋)						
委託料	1,200	長寿命化計画更新(1橋)						
合計	10,900		合計	50,000		合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	道路メンテナンス事業	8,720	千円 80.0%	国庫補助金名	道路メンテナンス事業	40,000	千円 80.0%	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債	橋梁長寿命化事業債	1,200	千円 11.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		980	千円 9.0%	一般財源		10,000	千円 20.0%	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	調査測量設計を実施(2橋)	令和6年度 との相違点	架替工事を実施(2橋)	令和7年度 との相違点	
今後の展開	調査測量設計の完了、完了した設計を元に工事を発注	目標	架替工事の完了	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	村道新川線災害防除事業												
令和5年度事業費	0	千円	令和6年度事業費	25,000	千円	対前年度増減額	25,000	千円	総事業費(令和6～8年度)	75,000	千円	事業区分	新規事業（緊急）

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
村道新川線は、中城村南上原地区土地区画整理地に隣接している村道であるが、本路線の法面が崩壊しており、法肩にある区画整理地内の道路にも崩壊の影響がでている。道路の一部沈下や異常発生箇所を調査し、対策を実施し、利用者の安全性の向上を図る。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課			
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係		
			分野		11-3 道路整備の推進				担当名	佐久田卓弥		
			その他関係施策						内線番号	281		
			事業期間	令和	6	年	～	令和	7	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題				事業実施効果			
中城村南上原地区土地区画整理地は、人口増加が著しく、交通量も多いので、異常発生箇所を早期に調査し、対策を実施することにより、災害を未然に防ぐため、早急に対策を行う必要がある。				災害防除対策することにより、多くの利用者の安心安全が図られる。			

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	25,000	実施設計	工事費	50,000	災害防除工事			
合計	25,000		合計	50,000		合計	0	

令和6年度 財源内訳				令和7年度 財源内訳				令和8年度 財源内訳			
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	20,000	千円 80.0%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	40,000	千円 80.0%	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債	新川線災害防除事業債	4,500	千円 18.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		500	千円 2.0%	一般財源		10,000	千円 20.0%	一般財源			千円

令和6年度目標(KPI等)	調査測量設計を実施	令和6年度との相違点	災害防除工事を実施	令和7年度との相違点	
今後の展開	調査測量設計の完了、完了した設計を元に工事を発注	目標	工事の完了	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	交通安全対策（地区内連携）事業												
令和5年度 事業費	1,320	千円	令和6年度 事業費	15,000	千円	対前年度 増減額	13,680	千円	総事業費 (令和6～8年度)	85,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要 中城村長、警察、教育関係者、道路管理者、地元自治会等において形成された合意に基づき、学校による安全教育や歩行者と車両交通を分離するため、道路管理者にて歩道やカラー路側帯の整備等を実施し地区内の生活道路における交通安全の確保を図る。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	都市建設係
	分野	11-3 道路整備の推進						担当名	佐久田卓弥
	その他関係施策							内線番号	281
事業期間	令和	5	年	～	令和	8	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村吉の浦公園地区は、中城村役場の新庁舎や認定こども園、公共駐車場、村立図書館が整備されており、朝夕の通勤、通学時の車両通行量が多い地区である。また、中学校移転の計画があり、周辺住宅からの通学路としての利用も見込まれているが、当地区は歩道が整備されていないため、歩行者にとって非常に危険状態であり、安全対策が求められている。	通学路内の安全対策を行うことで、通学路として利用している学生はじめ歩行者の安全を確保する。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	15,000	実施設計	工事費	50,000	歩道整備	工事費	20,000	カラー舗装
合計	15,000		合計	50,000		合計	20,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳						
国庫補助金名	道路交通安全施設等整備事業補助金	12,000	千円	80.0%	国庫補助金名	交通安全対策（地区内連携）	40,000	千円	266.7%	国庫補助金名	交通安全対策（地区内連携）	16,000	千円	106.7%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他（ ）			千円		その他（ ）			千円		その他（ ）			千円	
一般財源		3,000	千円	20.0%	一般財源		10,000	千円	66.7%	一般財源		4,000	千円	26.7%

令和6年度目標 (KPI等)	調査測量設計を実施	令和6年度 との相違点	歩道整備工事を実施	令和7年度 との相違点	カラー舗装工事の実施
今後の展開	調査測量設計の完了、完了した設計を元に工事を発注	目標	歩道整備工事の完了	目標	カラー舗装工事の完了

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 護佐丸バス運行事業													
令和5年度 事業費	23,256	千円	令和6年度 事業費	23,194	千円	対前年度 増減額	▲ 62	千円	総事業費 (令和6～8年度)	69,582	千円	事業区分	継続事業

事業概要 地形的に分断されている平坦部（下地区）と台地部（上地区）との東西の往来ができる公共交通及び空白地帯への日常生活の足の確保など、高齢者や学生等といった交通弱者の生活環境を改善するため、コミュニティバスを運行させる。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										企画課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	企画調整係
	分野	11-4 公共交通の拡充										担当名	比嘉秀哉
	その他関係施策											内線番号	221
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村は公共交通網が脆弱であり、住民の移動手段は主に国道329号を運行している路線バスのみであり、上地区と下地区を結ぶ公共交通が存在しないことから、買い物等における日常生活に支障をきたしている状況である。更に、近隣市町村にある高校へ通学するための公共交通の確保が必要であることや、高齢者等の交通弱者に対する支援が求められている。	住民生活で自家用車が一般化している中でも、高齢者・障がい者や児童・生徒など、交通弱者へ移動手段を確保することにより、自立した日常生活及び社会生活を営むことができる。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	2,210	バス券印刷・修繕等	需用費	2,210	バス券印刷・修繕等	需用費	2,210	バス券印刷・修繕等
役務費	95	車検手数料・自賠責等	役務費	95	車検手数料・自賠責等	役務費	95	車検手数料・自賠責等
委託料	20,782	バス運行・バス券販売	委託料	20,782	バス運行・バス券販売	委託料	20,782	バス運行・バス券販売
償還金	50	バス券購入返還	償還金	50	バス券購入返還	償還金	50	バス券購入返還
公課費	57	重量税	公課費	57	重量税	公課費	57	重量税
合計	23,194		合計	23,194		合計	23,194	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他（ ）	運賃収入	7,500	千円 32.3%	その他（ ）	運賃収入	7,500	千円 32.3%	その他（ ）	運賃収入	7,500	千円 32.3%
一般財源		15,694	千円 67.7%	一般財源		15,694	千円 67.7%	一般財源		15,694	千円 67.7%

令和6年度目標 (KPI等)	護佐丸バス利用者の増加 利用者数40,000人 (令和4年度実績36,531人)	令和6年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討	令和7年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討
今後の展開	運行ルート等の見直し検討	目標	利用者の増加と利便性向上	目標	利用者の増加と利便性向上

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	中城村地域公共交通計画策定事業										
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和5年度 事業費	0	千円	令和6年度 事業費	6,964	千円	対前年度 増減額	6,964	千円	総事業費 (令和6～8年度)	13,928	千円	事業区分	新規事業（通常）
--------------	---	----	--------------	-------	----	-------------	-------	----	-------------------	--------	----	------	----------

事業概要 中城村地域公共交通協議会を開催し、令和6年度は住民等アンケートの実施や分析等を行い、令和7年度策定を目指す中城村地域公共交通計画の基礎資料とする。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										企画課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	企画調整係
	分野	11-4 公共交通の拡充										担当名	比嘉秀哉
	その他関係施策											内線番号	221
事業期間	令和	6	年	～	令和	6	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
高齢化による自動車運転免許の返納や若年層の免許取得率の低下により、公共交通の役割が重要とある。また、民間事業者だけで公共交通を担う構造は維持が困難となっており、地方公共団体が中心となり住民等の移手段を確保していくうえで、その基本方針となる地域公共交通計画を策定する必要がある。					既存公共交通の課題等の解決策や今後の方針を計画に示し公共交通の拡充を図ることで、利用者の利便性向上に繋げることができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	144	協議会委員報酬	報酬	144	協議会委員報酬			
役務費	22	通信運搬費	役務費	22	通信運搬費			
委託料	6,798	アンケート調査等	委託料	6,798	アンケート調査等			
合計	6,964		合計	6,964		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	地域公共交通確保維持改善事業	3,399	千円 48.8%	国庫補助金名	地域公共交通確保維持改善事業	3,399	千円 48.8%	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		3,565	千円 51.2%	一般財源		3,565	千円 51.2%	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	アンケート実施	令和6年度との相違点	計画(案)を作成し協議会に諮る。	令和7年度との相違点	
今後の展開	現状把握やアンケートの実施・分析を行い、課題整理と住民ニーズを把握する。	目標	地域公共交通計画の策定	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名										タウンセンター地区排水対策事業									
令和5年度事業費		千円		令和6年度事業費		3,135千円		対前年度増減額		3,135千円		総事業費(令和6～8年度)		213,135千円		事業区分		新規事業（緊急）	

事業概要				第五次総合計画での位置付け								担当課					
公共・公益施設が集積され、村の新たな拠点としての整備が進むタウンセンター地区における排水機能の抜本的な対策を行う。				施策の大綱				4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課					
				基本施策				①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係		都市建設係			
				分野				11-5 雨水排水の強化				担当名		佐久田卓弥			
				その他関係施策								内線番号		281			
事業期間				令和6年		～		令和10年		積算資料		有					

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
タウンセンター地区の排水施設の多くは農業のための取水用の用水路であり、雨水等の排水機能に課題がある。また、地区全体の勾配が緩いため、高潮時等は水がはけず浸水が発生することも多い。地域住民の安心・安全な生活の確保や新たな拠点としての都市機能の強化のためにも、排水施設の改修や新設等、排水機能の抜本的な対策が必要である。					タウンセンター地区における排水機能の抜本的な対策により都市基盤が強化され、安心・安全なまちづくりに寄与する。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	3,135	排水計画業務委託	委託料	10,000	設計業務委託	工事請負費	200,000	排水施設設置工事
合計	3,135		合計	10,000		合計	200,000	

令和6年度 財源内訳					令和7年度 財源内訳					令和8年度 財源内訳				
国庫補助金名	金額(千円)	割合(%)	千円	%	国庫補助金名	金額(千円)	割合(%)	千円	%	国庫補助金名	金額(千円)	割合(%)	千円	%
石油貯蔵施設設立地対策等交付金	3,135	100.0%												
県補助金名														
地方債														
その他()						10,000	100.0%				200,000	100.0%		
一般財源														

令和6年度目標(KPI等)	排水計画の策定完了	令和6年度との相違点	排水施設の設計	令和7年度との相違点	排水施設の工事
今後の展開	排水計画に基づく排水施設の改修や新設等を行う。	目標	排水施設の設計完了	目標	排水施設の工事着手

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	雨水出水浸水想定区域図作成事業												
令和5年度事業費	0	千円	令和6年度事業費	26,000	千円	対前年度増減額	26,000	千円	総事業費(令和6～8年度)	66,000	千円	事業区分	新規事業(通常)

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
令和3年の流域治水関連法による水防法の改正によって、雨水出水浸水想定区域の指定対象が拡大したことに伴い、雨水出水(内水)浸水想定区域図(以下、想定区域図)を令和7年度中に作成することが義務付けられました。そのため、中城村下水道事業は令和6年度より想定区域図作成に向けて取組んでまいります。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						上下水道課		
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	下水道係	
			分野	11-5 雨水排水の強化						担当名	下地	
			その他関係施策							内線番号	244	
			事業期間	令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
雨水出水浸水想定区域図を作成することが下水道事業に係る補助金の交付要件とされたことから、令和7年度中で完成する必要があるため早急に取り組む必要があります。					雨水出水浸水想定区域は近年の異常気象をうけて、想定最大規模降雨を想定した浸水ハザードマップです。災害クラスの降雨の際、避難区域指定の目安として活用することが可能となります。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	26,000	委託業務	工事費	40,000	委託業務			
合計	26,000		合計	40,000		合計	0	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	防災・安全交付金	13,000	千円	50.0%	国庫補助金名	防災・安全交付金	20,000	千円	50.0%	国庫補助金名			千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他()			千円		その他()			千円		その他()			千円	
一般財源		13,000	千円	50.0%	一般財源		20,000	千円	50.0%	一般財源			千円	

令和6年度目標(KPI等)	雨水整備事業区域内の現地調査・概略測量を完了します。	令和6年度との相違点	前年度の調査結果をもとに雨水整備総合計画を作成し、雨水出水浸水想定区域図の作成を完了します。	令和7年度との相違点	
今後の展開	次年度中に雨水出水浸水想定区域図作成します。	目標	雨水整備総合計画100% 雨水出水浸水想定区域図100%	目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 水道事業（第7次拡張）													
令和5年度 事業費	120,000	千円	令和6年度 事業費	82,600	千円	対前年度 増減額	▲ 37,400	千円	総事業費 (令和6～8年度)	276,600	千円	事業区分	継続事業

事業概要 給水区域内における給水人口及び給水量の増加に対応するため、水道施設を整備し、住民への安定した給水を目的とする。 令和6年度については老朽化した水道管の布設替を中心に工事を実施する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										上下水道課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	施設係
	分野	11-6 上下水道の充実										担当名	安里 亘
	その他関係施策											内線番号	2423
事業期間	令和	29	年	～	令和	8	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
生活用水の需要増や地域開発の動向に対応するため、老朽化した水道施設の更新を行い、水の安定供給を図るため年次的に施設整備を行っていく必要がある。 今後は水道管の老朽化の進行が深刻となってくる為、早めに対策を行う必要がある。					耐震対応した水道管に布設替えをすることにより、今後の水需要の増大や災害等危機管理対策も同時に実施することができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	77,100	水道管布設替工事	工事費	92,000	水道管布設替工事	工事費	98,000	水道管布設替工事
委託費	5,500	配水管測量測量設計	委託費	4,000	配水管測量測量設計			
合計	82,600		合計	96,000		合計	98,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	41,300	千円 50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	48,000	千円 50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	49,000	千円 50.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()	水道料金	41,300	千円 50.0%	その他()	水道料金	48,000	千円 50.0%	その他()	水道料金	49,000	千円 50.0%
一般財源			千円	一般財源			千円	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	施工箇所和宇慶、津覇、南上原、安里)と工事内容(配水管改修等)	令和6年度との相違点	施工箇所(奥間、安里、当間)と工事内容(配水管改修等)	令和7年度との相違点	施工箇所(久場、南上原、北上原)と工事内容(配水管改修等)
今後の展開	配水管 L=2,400m	目標	配水管 L=1,700m	目標	配水管 L=2,000m

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		下水道事業									
令和5年度事業費	373,916千円	令和6年度事業費	361,400千円	対前年度増減額	▲12,516千円	総事業費(令和6～8年度)	986,932千円	事業区分	継続事業		

事業概要				第五次総合計画での位置付け				担当課							
中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施については、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。				施策の大綱				上下水道課							
				基本施策				①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します							
				分野				11-6 上下水道の充実							
				その他関係施策											
事業期間				令和 2 年 ～ 令和 6 年				積算資料 有							
担当係				下水道係				担当名				下地			
内線番号				244											

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として事業を実施する必要があります。課題としては、村内の下水道整備率が55.9%と低いことから、令和4年度から令和8年度まで新規交付金事業（地方創生整備推進交付金）を活用して、より一層の下水道整備推進を図ります。						下水道整備の実施により、令和3年度末の下水道整備率55.3%となり公衆衛生の向上、公共用水の水質保全が期待できる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	221,400	污水管工事	工事費	281,166	污水管工事	工事費	272,466	污水管工事
委託費	140,000	詳細設計・施工管理	委託費	48,700	詳細設計・施工管理	委託費	23,200	詳細設計・施工管理
合計	361,400		合計	329,866		合計	295,666	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	127,000千円	35.1%	国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	124,000千円	37.6%	国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	107,000千円	36.2%
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	64,400千円	17.8%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	49,000千円	14.9%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	49,000千円	16.6%
地方債	財政融資資金貸付金	169,900千円	47.0%	地方債	財政融資資金貸付金	156,800千円	47.5%	地方債	財政融資資金貸付金	139,600千円	47.2%
その他()				その他()				その他()			
一般財源		100千円		一般財源		66千円		一般財源		66千円	

令和6年度目標(KPI等)	南上原地区の下水道整備の推進を図り、整備率を59%まで引き上げます。	令和6年度との相違点	南上原地区の下水道整備完了。 添石・伊舎堂地区の下水道整備に向け幹線整備に着手します。	令和7年度との相違点	添石地区の下水道整備を行います。
今後の展開	人口密集地である南上原地区の下水道整備完了を努めます。	目標	南上原地区整備率100% 下水道整備率61%	目標	下水道整備率63%

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）													
令和5年度 事業費	3,000	千円	令和6年度 事業費	3,000	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	9,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
下水道接続の普及推進事業として、下水道接続工事費の補助（合併浄化槽からの接続5万円、単独浄化槽及び汲み取りからの接続10万円）を実施し、住民の負担軽減を図ることにより多くの住民に下水道接続を促します。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります						上下水道課	
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	下水道係
			分野		11-6 上下水道の充実						担当名	下地良和
			その他関係施策								内線番号	244
			事業期間		令和 2 年 ～ 令和 6 年 積算資料							

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
令和4年度末の下水道接続率は67.6%となっており、県内の自治体と比較しても低水準となっています。また、下地区の下水道接続率が低くなる傾向があるため、広報活動や補助制度の周知を強化する必要があります。					効果促進事業をおこなう以前の平成24年度末で30.1%であった下水道接続率は、令和4年度末時点で67.6%（前年度比+1.0%）まで上昇し、9年間で37.5%増加しました。年度目標値も毎年達成し接続率は順調に増加しており、公共用水域の水質保全に寄与しています。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事
合計	3,000		合計	3,000		合計	3,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		2,000	千円 66.7%	一般財源		2,000	千円 66.7%	一般財源		2,000	千円 66.7%

令和6年度目標 (KPI等)	下水道接続補助の広報・啓蒙活動を推進し、下水道接続率を71%まで引き上げます。	令和6年度との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	令和7年度との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。
今後の展開	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	目標	下水道接続率を73%以上	目標	下水道接続率を75%以上

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 観光地周辺環境美化事業													
令和5年度 事業費	18,193	千円	令和6年度 事業費	18,193	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	54,579	千円	事業区分	継続事業

事業概要 観光地及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	都市建設係
	分野	12-1 住環境の向上										担当名	狩俣 誠
	その他関係施策											内線番号	281
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村には、歴史的観点や観光資源としても活用されている『歴史の道』や『南上原糸蒲公園』等があり、そのような場所を安全・安心に歩行できるよう環境美化を行い観光振興を図る。また、本村ではスポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光振興の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行っており、観光客が気持ち良く村内を回遊できるよう観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。					県営中城公園の、旧ホテル跡地が解体され、今後は、城跡の正門側の整備も進むことが想定される中、現在の護佐丸ウオーキング以外にも歴史の道を使った、観光イベント等への利活用が見込まれる歴史の道や、各種イベントで利用される中城村吉の浦公園周辺道路を美化することにより、中城村の観光振興に寄与する。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	17,973	会計年度任用職員	報酬	17,973	会計年度任用職員	報酬	17,973	会計年度任用職員
需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等
合計	18,193		合計	18,193		合計	18,193	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	14,554	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	14,554	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	14,554	千円 80.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		3,639	千円 20.0%	一般財源		3,639	千円 20.0%	一般財源		3,639	千円 20.0%

令和6年度目標 (KPI等)	夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。作業が間に合わない個所について、自治会への委託が可能か検討する。	令和6年度との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。	令和7年度との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。
今後の展開	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 吉の浦公園機能強化整備事業													
令和5年度 事業費	38,687	千円	令和6年度 事業費	101,518	千円	対前年度 増減額	62,831	千円	総事業費 (令和6～8年度)	201,784	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け					担当課				
プロサッカーチームのキャンプを今後も継続して受け入れるため、専門技術者による適正な芝の管理を行い環境を整えとともに、更なるキャンプ誘致や地域活性化につなげる。また、各種スポーツ合宿や大会等が開催されるスポーツコンベンションとしての拠点施設としての機能強化を図るため、吉の浦公園の整備計画に基づいた計画的な施設全体の整備を行っている。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります					生涯学習課		
			基本施策		⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します					担当係	体育振興係	
			分野		12-2 公園緑地の管理					担当名	棚原	
			その他関係施策							内線番号	711	
事業期間			令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
サッカー場の芝を適正に管理することで、県内屈指の質の高い芝環境を維持している。そのため、プロサッカーチームが継続してキャンプ地としての利用が定着しつつある。今後も継続した受入れをしていくうえで、適正な管理の継続は必須である。吉の浦公園各施設は老朽化が進行している。住人の増加に伴い、生活環境へのニーズや施設への需要が変化中、本村のスポーツコンベンションの拠点として、各施設が機能するように整備を進めていくとともに、多様な利用者が安全に施設を使用できるように対策を実施する必要があるため防犯カメラの設置を実施する。					計画的に施設の整備を行い、効率的に各施設の機能強化を推進することで、キャンプ地としての魅力が増し、各種スポーツの大会などの開催や村内各団体のスポーツ活動の活性化、村民の健康増進といった生涯スポーツの拡充を図ることができる。また、防犯カメラを設置することで、利用者が安全に施設を使用することができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費①	11,550	芝管理委託料	委託費①	11,550	芝管理委託費	委託費①	11,550	芝管理委託費
委託費②	3,707	防犯カメラ新施設設計	工事費①	25,000	園内看板整備工事	委託費②	5,500	展望台解体設計・監理
工事費①	17,577	防犯カメラ新施工事	人件費①	3,317	技術嘱託員	工事費①	25,000	展望台解体工事
人件費①	3,804	技術嘱託員	人件費②	4,272	公園清掃整備員	工事費②	4,000	東屋解体工事
人件費②	4,749	公園清掃整備員	委託費②	2,500	展望台現況調査	人件費①	3,317	技術嘱託員
委託費③	1,606	防犯カメラ設置 監理				人件費②	4,260	公園清掃整備員
委託費④	1,879	野球場LED化 設計						
工事費②	56,646	野球場LED化 工事						
合計	101,518		合計	46,639		合計	53,627	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	81,214	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	37,311	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	42,902	千円 80.0%
地方債	吉の浦公園機能強化整備事業	11,700	千円 11.5%	地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		8,604	千円 8.5%	一般財源		9,328	千円 20.0%	一般財源		10,725	千円 20.0%

令和6年度目標 (KPI等)	陸上競技場の適切な芝管理を行い、防犯カメラの新設を実施し安全管理を行う。また、野球場の照明を水銀灯からLEDに取り替える。	令和6年度との相違点	見直した基本計画に基づき、事業を実施していく。公園をより快適に利用できるように園内の看板及び標識の整備を実施する。	令和7年度との相違点	見直した計画に基づき、事業を実施していく。破損の著しい展望台や東屋を撤去してより安全に園内を利用していただけるように整備する。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 芝の適正な管理の実施 防犯カメラの設置 野球場照明のLED化 	目標	<ul style="list-style-type: none"> 芝管理委託の実施 公園内看板の整備 	目標	<ul style="list-style-type: none"> 芝管理委託の実施 展望台の解体 東屋の解体撤去

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 スポーツ観光交流拠点形成推進事業													
令和5年度 事業費	18,045	千円	令和6年度 事業費	244,538	千円	対前年度 増減額	226,493	千円	総事業費 (令和6～8年度)	540,799	千円	事業区分	継続事業（緊急）

事業概要 陸上競技場及び管理棟の整備	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										生涯学習課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	体育振興係
	分野	12-2 公園緑地の管理										担当名	棚原
	その他関係施策											内線番号	711
事業期間	令和	5	年	～	令和	8	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
<p>ごさまる陸上競技場は、村のスポーツ施設の中心として、近年では毎年サッカーキャンプの誘致を行っているが、既存の陸上競技場管理棟は昭和61年に建設されており、スポーツキャンプを実施する上で十分な設備を有しておらず、令和5年度に入り、プロサッカーチームよりキャンプ等での選手受け入れ時の環境改善要望があり、キャンプの継続実施の為に早急な機能強化が必要である。</p>					<p>施設機能を強化しスポーツキャンプ受け入れの環境改善を実施することで、選手のみならず観覧者も含めた施設利用者の利便性向上を図り、観光客の増加による更なる沖縄振興を図る。また、村のスポーツ施設の中心として村民の多様なニーズに対応することで、若年層のみならず高齢者までの幅広い世代がスポーツと触れ合う機会を創出し、村民の健康増進を図る。</p>				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料①	10,515	競技場照明設計	委託料①	6,115	建設工事監理			
委託料②	1,679	解体工事監理	工事費①	264,307	建設新設工事			
委託料③	12,051	磁気探査調査	備品購入	25,839	備品購入			
工事費①	16,244	解体工事						
工事費②	199,017	建設工事						
委託料④	5,032	建設工事監理						
合計	244,538		合計	296,261		合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特定事業推進費	185,990	千円 76.1%	国庫補助金名	沖縄振興特定事業推進費	237,009	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特定事業推進費		千円
県補助金名	沖縄県市町村支援事業補助金	11,448	千円 4.7%	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債	ごさまる・スポーツ観光交流拠点形成推進事業	46,400	千円 19.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		700	千円 0.3%	一般財源		59,252	千円 20.0%	一般財源			千円

令和6年度目標 (KPI等)	基本設計を基に、解体及び新設工事を進めていく。また、照明工事の設計を実施する。	令和6年度との相違点	管理棟の新設及び競技場照明の新設を実施する。施設に必要な備品の購入を実施する。	令和7年度との相違点	施設に必要な備品の購入を実施する。
今後の展開	新設工事に向け、必要な準備を進める。	目標	管理棟及び照明の新設工事を完了する。備品を購入し、運用を開始する。	目標	備品を購入し、運用を開始する。